



ライラックの育て方

笠 康三郎

▼ライラックの普通種



見えて育ったことでしょうか。

エスターやミネアポリスには数百種ものライラックを集めた名所が観光客を集めているといわれ、レーガン大統領も、この花を見て育ったことでしょうか。

中西部地方に位置するミネソタ州のロチ

アメリカやカナダではさらに耐寒性の強い品種群が作られており、北海道にはアメリカ系の品種の方が向いているように思われます。古くからライラックが植えられていたニューイングランド地方では、ほとんどの家の庭を飾っているそうで、ニューハンプシャー州の州花にもなっています。

ライラックは、わが国に導入されて約1世紀ほど経っていますが、関東以西の暖地では生育が思わしくなく、本来のよさを発揮できないことから、品種導入のパイプも細りがちです。

このため、欧米では数百種もあるといわれる様々な園芸品種群はほとんど目に触れず、もちろん、わが国独自の品種改良もほとんど行われませんでした。(同様に北国でこそ、そのよさを発揮できるアルフィニウム、エリカールーナ、ロードデンドロン、球根ベゴニアなどでも、ずいぶんとはがゆい思いをさせられてきました)

品種改良はまずフランスを中心としたヨーロッパで行われ、重弁花、大きな花房、白、黄、ピンク、青、赤紫などの様々な花色をしたものが作り出されました。庭園を飾るだけでなく、鉢植えや切り花としてたくさんの方が必要があるというのも、ヨーロッパでのライラックの特徴の一つです。



◀濃いピンクのライラック



◀シロライラック(札幌・大通公園)

▼濃赤紫色のライラック



▲シロライラック



▲八重咲きの品種

ラッキー・ライラック

ライラックの花は、先が4弁に分かれているのが普通ですが、まれに5つに分かれているものがあります。ヨーロッパではこの5弁のライラックを探し、もし見つかると恋人と結ばれるといわれ、これをラッキー・ライラックといいます。四ツ葉のクローバーと同じものでしょう。

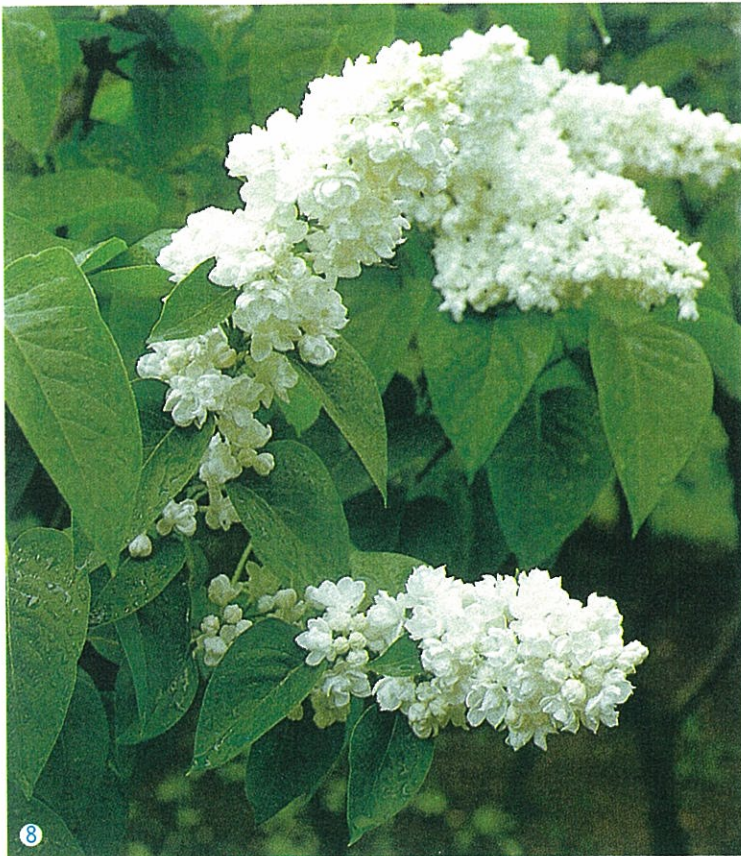
なお、ライラックの花言葉は「愛の芽生え」

ライラックの品種と仲間

一般的なライラックの花といえば、薄い青紫色で、花房の大きさも10〜15cm程度のものです。蕾のうちはかなり色が濃く、開くにつれて色が淡くなっていきますが、花の色は淡い紫からえび茶色のようなもので実に様々です。

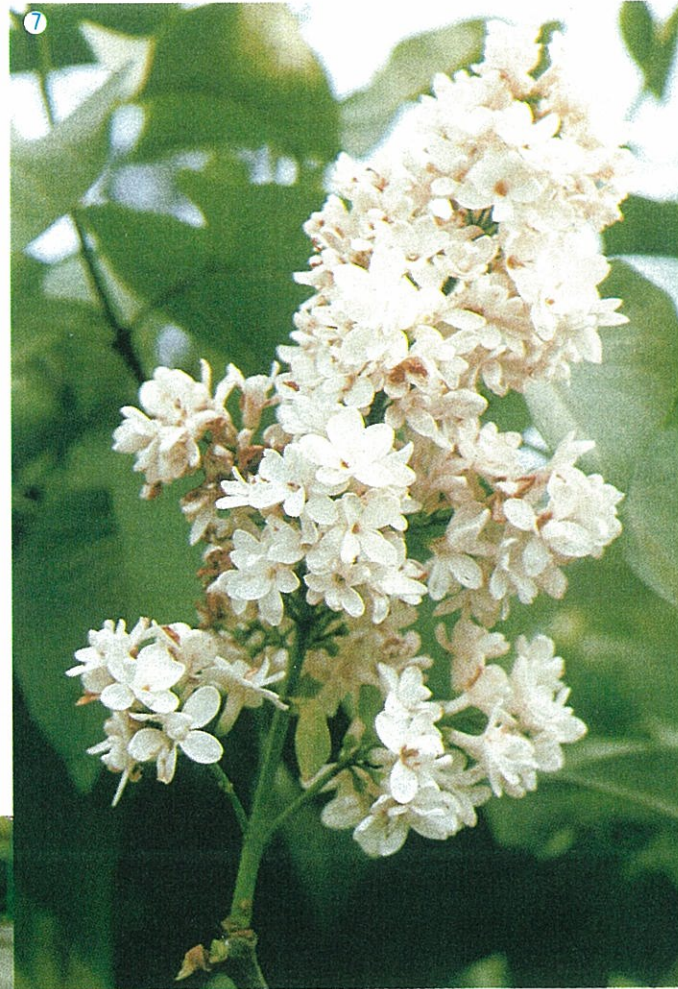
写真①は最も普通のライラックですが、写真②の株はかなり濃いピンクをしています。花が開くとともに花色が移ってゆくのもよいものですが、このくらいはつきりした色をしていた方が空の青さにかき消されず、庭木としてのアクセントは強いでしょう。花色は1本1本微妙に違うので、少し変わったものがほしいときには開花期に花色を確かめ、落葉後に移植するくらいの手間も必要です。よく見かけるものに、写真③のような濃い赤紫のライラックがあります。花弁の幅も広く、花房も20cm近くになりますが、普通種のように密生しないので、樹全体の華やかさにはやや欠けるのが残念です。

様々な花色の中では写真④、⑥の白花品が昔から知られており、かなり普及しています。開花時は純白で非常に清楚な気品がありますが、花が古くなるにつれて黄色味を帯び、散りぎわには褐色になるのでちょっと汚れた感じになってしまいます。外国にある黄花の品種というのはこの変化をうまく固定したのでしょうか。シロライラックは花



8

▲白花、八重咲きの品種



7

▼ピンク色の園芸品種「桃源」
(写真協力・サカタ種苗)



9

▲白花、半八重の園芸品種「白八竜」
(写真協力・サカタ種苗)



10

▲チャボハンドイ(ヒメライラック)
の花と市販の鉢植え品▶



11

(写真協力・サカタ種苗)



▲ウスゲハシドイ(写真協力・浅野義人氏)



▲ハシドイ(ジャパニーズ・ツリー・ライラック)

▼ハンガリーハシドイ



15



▲タチハシドイ(写真協力・辻井達一氏)

☼斑入りのライラック☼

どんな植物でも突然変異(芽条変異)を起こして葉に斑が入ることがあります。写真のものは6年前に見つけた斑入りの枝変わりを芽接ぎで独立株にしたもので、鮮やかな黄色の掃込斑(ハシカ)をもっていました。しかし性質は弱く、強光線に当たると斑の部分が焼け、数年後に枯死してしまいました。



弁がやや細く花房もやや小振りです。

あまり普及してはいませんが、欧米で改良された園芸品種もいくらかは導入されています。これらは一般に一つ一つの花が大きく、重弁化したものが多い、花房が20cm前後と大きい、などの特徴をもっています。しかし花房が大きいだけに株全体が花でおおわれる——といった感じにはならず、雨に濡れると花首が曲がることもあります。

写真⑤や⑧のような見ごたえのあるライラックがやがて出回ってくることでしょう。このほかにもピンクの大房咲き、花弁の内側が赤紫、外側が淡ピンクのものなどもあります。

国内の種苗会社からも、近年園芸品種が作出されて来ており、写真⑦や⑩などの品種があります。写真で見ると限りでは、暖地順応性を改良の目的にしているためか欧米の改良品にはまだまだのようで、北国に住む者を満足させるものではないようです。



◀ ハシドイ属によく似たオオバイボタ



▲ イボタノキ

▼ 斑の美しいキフ(黄斑)イボタ



◀ ウイルス病によるものと思われるライラック(右)。左は正常株



▼ 塀ぎわに様々な花色のライラックを列植した例

▲ ライラックの生垣(刈り込むために花つきは悪くなる)



ライラックの近縁種

ライラックの属するハシドイ属(*Syringa* L.)には、ヨーロッパ東部とアジア北東部に約30種の植物があります。いずれの種類も小さな先が4つに分かれた花を房咲きに咲かせ、甘い香りをもっています。

これらのハシドイ類は札幌の北大植物園(札幌市中央区北3西8)の事務所脇に植えられており、6~7月にかけて、淡いピンクや紫の花を咲かせています。これらの中でもっと普及してもよいのではないかと思われるものを、いくつか紹介しましょう。

✿チャボハシドイ✿

ライラックをそのまま小振りにしたような姿をしているのでヒメライラックの名があり、少しは出回っています。中国遼東半島産で耐寒性がやや弱く、庭木としてより、鉢植えてライラックの雰囲気を味わうのに向いています。写真⑨・⑩

✿ハンガリーハシドイ✿

最も普及してほしいのが、この種類です。花期がライラックより約1カ月も遅く6月下旬~7月上旬であること、地ぎわから枝を叢生する低い灌木(1~1.5m)で、花つきがよい、開花期は赤紫色で開くにつれピンクになりコントラストが非常に美しいこと、などが特徴として挙げられます。欧

米では人気のある庭園花木の一つで、耐寒性も強く、本道にはうってつけの庭木となるでしょう。写真⑮

✿タチハシドイ✿

花房の形が面白い種類です。葉がやや大振りなのが難点ですが、淡いピンクの花は人目を魅きまします。朝鮮の原産。写真⑬

✿ウスゲハシドイ✿

花は淡紅色で地味ですが、香りのよい種類です。中国東北部~北部朝鮮原産で、寒さには非常に強いものです。写真⑭

✿ハシドイ✿

本邦産のハシドイ属の植物はハシドイ(ドスナラ)一種のみです。分類上はやや異なるグループになるため、ライラックとはあまり似ていません。10m近くにまでなる高木のため、庭園樹としてはほとんど利用されていませんが、公園樹や街路樹としてはもっと利用したいものの一つです。これもやはり欧米の方が素質を見抜く力があるようで、ジャパニーズ・ツリー・ライラックの名でかなり利用されています。

盛夏のころ、白い綿菓子のような花を枝先に群生させて見事なものです。写真⑫

ハシドイ属の近縁種

同じモクセイ科に属し、外観も性質もよく似て

いるのがイボタノキ属(*Ligustrum* L.)の植物です。生垣樹としてなじみ深いイボタノキ(写真⑯)や、花穂が大きくてライラックの仲間によく似たオオバイボタ(写真⑰)、鮮やかな黄覆輪の葉が美しいので刈り込み物や切枝にされるキフイボタ(写真⑱)などがあります。

イボタノキ属の植物の花は白く地味ですが、甘い香りを持つ花を咲かせます。ライラックとは緑が深く接ぎ木で増殖する際には、イボタノキやオオバイボタを台木にすることが多いのです。

普通、接ぎ木では同じ植物を台木にするか(共台という)、同属の植物を用いますが、このように異属間で行っても親和性が高いというのも珍しい存在です。

ミヤマキリシマ専門



ミヤマキリシマ 高山植物 6/15まで特売!! せひご来店 ください

ハツとしてグッと来るこの安さ、この品数

カタログ発行 要 200円

〈北国の園芸友の会指定店〉

美松商事園芸部

〒074-12 深川市音江町155-4(国道12号線沿)

TEL (01642)5-1730

ライラックの魅力

ライラックは道内どの町に行っても見かける最もポピュラーな花木の一つですが、外国産の植物が、導入後約1世紀の間にこれだけ愛されるようになったというのも珍しいことです。そこでこの花のもつ魅力について調べてみましょう。

花期

雪融け後しばらくの間は冷たい風が吹き荒れ、ほこりっぽい嫌な季節ですが、やがてキタコブシやエゾムラサキツツジが開き始め、5月になるとレンギョウ、ウメ、ハナカイドウ、そしてエゾヤマザクラと次々と開花してきます。花見のころは、夜になるとまだぐっと冷え込み、朝方には霜の心配もありますが、5月も末になると夜の冷え込みもゆるみ、いよいよ春たけなわとなります。気分的にも十分に開放されたちようどよいときに、ライラックの花が咲いてくれるわけです。このため、サクラの花よりもむしろ春到来を意識させてくれるような気がします。

花色

一つ一つの花は小さなかわいいものですが、それが数百も集まって花房をつくり、淡い紫の花房が株をおおっほびっしりと咲きます。

私たちの周囲にあるたくさんの花木では、白く

ピンクく赤紫の花を中心に黄花のものが主流といつてよいでしょう。青く紫色の花を咲かせるのはアジサイ、フジ、ムクゲなどあまりなく、余計この花の色が目立つのかも知れません。

花の香り

暖地にはキンモクセイとジンチョウゲという香りの素晴らしい両横綱がありますが、ライラックは北国を代表して、彼らに負けない実力を持っています。筆者の実家（四国）に植えてある株は、札幌のものほど香りませんが、昼夜温差の大きい北国でないと実力を発揮できないのかも知れません。キンモクセイは同じモクセイ科の植物で、ライラックとそっくりな形の黄金色の花を咲かせます。葉の陰にひっそりと花をつけ、甘い香りを風に漂わせ、はらはらと散りゆく様に風情を見つけるのに対し、ライラックは葉の上に花房を突き出し、ムンムンとした甘い香りを発して人を魅きつけます。東洋と西洋の文化の基盤の違いを象徴しているようで興味深いものです。

庭園樹としての魅力

※ほどよいサイズ

都市部では宅地の広さが狭くなる一方で、ボリュームのある庭木を配植することができなくなり、

マツやイチイ、モミジ類、サクラ、ナナカマドなど葉張りがあるものや成長の早いものは、植えにくくなったり、植えた後で大きくなり過ぎて困ったりします。

スペースに余裕がないけれども、大きくならず、ある程度のボリューム感があり、花が美しく、手間がかからないような木、といった欲ばった希望を満たす木は、ライラック以外には見当たりにせん。

もちろん、こんな変な条件をつけなくてもライラックの居場所は見つかります。それは、灌木でありながらある程度まで大きくなり、しかもそれ以上は大きくならない、という便利なサイズをしていることによるものです。

このため、

◎ ツツジ類やボタンなどの小灌木の背景樹となる
◎ 塀や隣家の建物などを隠すのにちようどよい高さになるが、かといって敷地内を日陰にするほど大きくはない

◎ 道路沿に列植すれば通行人の目隠しになるなど、様々な利点があります。

※樹姿と花つき

あまり手をかけなくても毎年よく咲いてくれる花木は、無精者ならずとも便利なものです。ライラックは特別な剪定をしなくても整った樹形を保ち、日光さえ十分に当たっていればよく咲いてくれます。

※萌芽性・分岐性

枝を途中で切っても不定芽を生じて枝を発生するほど、萌芽性、分岐性が強く、老化した枝の更新や、刈り込んで生垣とすることさえできます。
寒耐寒性・その他

苗木の購入から栽培まで

北海道で栽培される庭木が必ずもっていないけれども耐寒性ですが、ライラックはこの点でもまったく問題なく、致命的な病虫害もありません。

苗木の購入

ライラックは、苗木で販売されているものでは必ず接ぎ木されています。共台（ライラック台）のものといボタ台のものがあり、イボタ台の方が細枝が出にくい代わりに、木としての寿命が短いといわれています。イボタ台の場合は根が黄色っぽくて細根が多く、ライラック台の場合は根が白くやや太いので区別できます。

成木の場合は地ぎわからのひこばえの発生が少ないもの、枝先が太く、芽の丸くころっとしているもの、あまり細かく枝分かれしていないもの、などを目安にします。

ひこばえをかき取ってふやす場合には、もしその花が普通と違うよい株であれば、台木の芽である恐れがあります。数年そのままにして花を見てから株分けした方がよいでしょう。

落葉期であれば根に土がつかなくても大丈夫ですが、葉のある時期には枝を切りつめて葉からの蒸散量を減らしてやりましょう。

植えつけ

ライラックを日当たりの悪い所に植えては、あまり花をつけてくれません。せめて半日は太陽に当たる場所を選んでください。

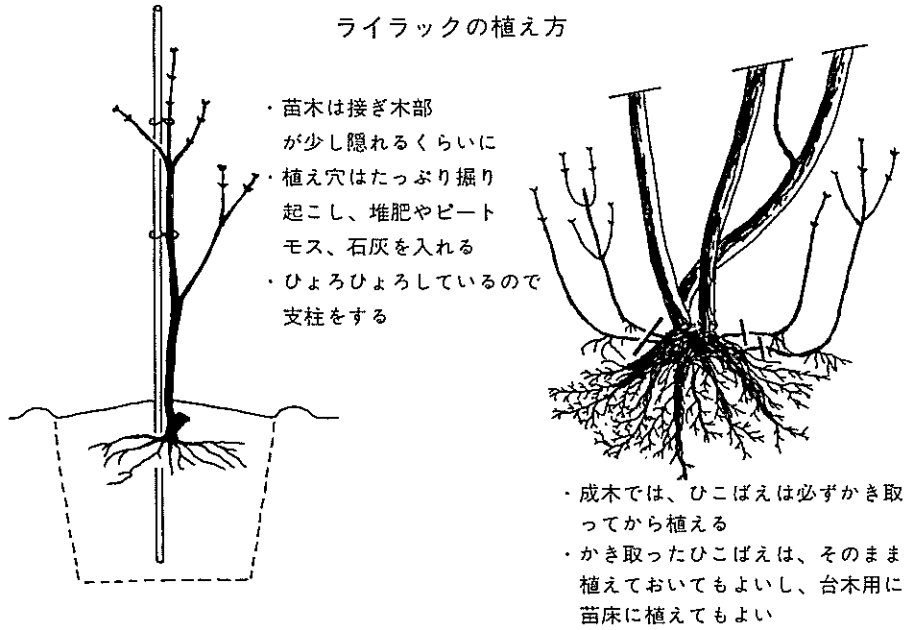
植え穴はできるだけゆつたりと掘り、石ころなどを取り除きます。ライラックは乾燥に弱いので火山灰地や砂質地ではピートモスや堆肥をたっぷりと混ぜてください。また、強い酸性土は嫌いますから、石灰で中和しておきます。

接ぎ木苗では接ぎ木部分を土中に入るように植えます。ひこばえが発生している株を植えるときには、ドライバーなどで根鉢の土を崩し、できるだけひこばえをかき取っておきましょう（落葉期に限りです）。

移植

移植は早春の展葉前（4〜5月上旬）が最もよく、秋の落葉後がこれに準じます。ライラックは細根の発生が多く、しっかりと土をつかんでいるので失敗することはまずありません。細根は比較

ライラックの植え方



- ・成木では、ひこばえは必ずかき取ってから植える
- ・かき取ったひこばえは、そのまま植えておいてもよいし、台木用に苗床に植えてもよい

的に浅くに分布していますが、太い垂下根もあり、ノコできれいに切り直します。
 新しく植えた場合も移植した場合も成木では必ず支柱をしてやりましょう。
 葉がある時期の移植は注意が必要です。移植前に不要な細枝やからみ枝を切り取り、枝先も少し切りつめます。このときに花芽も切り取るようになりますが、翌年は花を咲かせない方が木に負担をかけないので、迷わずに切ってください。

また、葉や枝に蒸散抑制剤（グリーンナーなど）をかけておくと植え傷みが少なく、木が弱りません。移植後はたっぷり水をやり、葉のしおれ具合を見て適宜水をやってください。

なお、葉のあるなしにかかわらず、植えた年（あるいは翌年）は、花は色の確認程度とし、蕾が伸びる前に必ず摘み取ってください。

ライラックは太い枝先にはたいたい花芽を2〜3個はもっていますし、一つの花房も大きいので全部咲かせると著しく株を衰弱させ、回復に数年を要するのならばまだしも、枝枯れを起こすことさえあります。

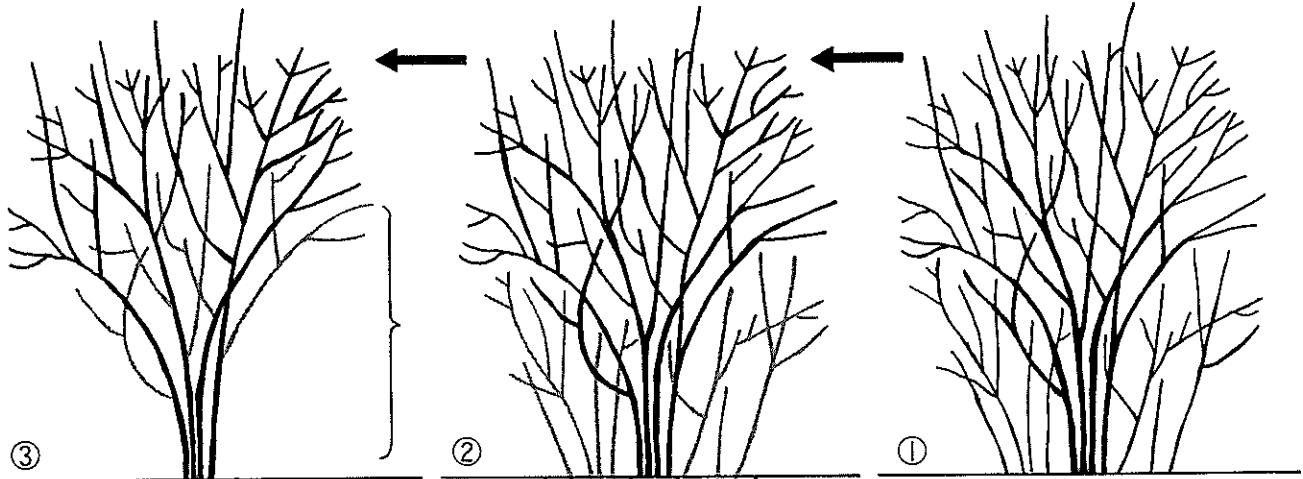
剪定

※春の剪定

雪融け後、雪で傷んだ枝を補修したり、剪定します。ライラックは萌芽性が強いために幹の途中で折れた場合でも途中から芽吹くことが多いのです。きれいに切り戻しておくとういでしょう。

まず剪定するのは、地ぎわから発生するひこばえです。ひこばえを放置すると株が非常に弱り、花も咲かなくなります。地ぎわから切ってもすぐにまた芽吹いてくるので、スコップで少し掘り取った方がよいでしょう。

次に幹から吹く胴吹き枝は地上1mくらいまではつけ根からきれいにかき取ります。枝先の方によく出る徒長枝は、樹形が整っている場合はかき取りますが、枝が細かくなって花つきが悪くなっ

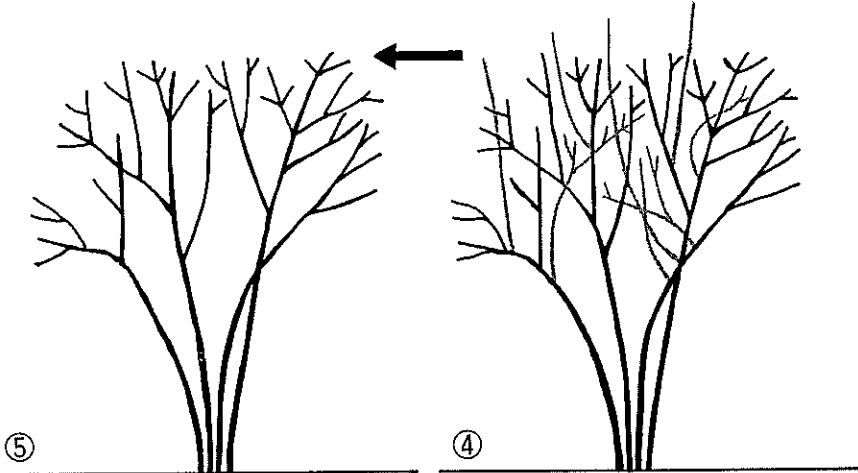


③ 地上1m前後の幹から吹いている胴吹き枝を、つけ根から切り取る

② 中心となる幹以外のひこばえは、地ぎわ（できれば地中から）から、切り取る

① ●何年もほったらかしのライラックの株
●花つきが悪くなり、株も弱ってくる

徒長枝を利用して古枝の更新



⑤ ●このような樹形に保つと、大きな花房がびっしりと咲いてくれる

④ ●樹形を乱す徒長枝は、つけ根から切り取る
●樹冠の内部に伸びるふところ枝、からみ枝も切り取る

た場合には、徒長枝を利用して枝を更新することができません。

※開花後の剪定

開花後は、できるだけ花がらを摘み取ります。種子をつけると枝が弱り、翌年の花つきに悪いので、特に若木のうちは手の届く限り摘み取ってください。あまり樹高を高くしたくない場合には、強く伸びる太い枝は2、3芽残して切りつめます。

繁殖

ライラックをふやすのに最も簡単な方法は、地ぎわから発生するひこばえをかき取る方法です。親木が普通のライラックであればこの方法で十分で、たくさん苗木が得られますし、親木の生育にもよいのです。

しかし、八重咲きや、濃色の品種ものをふやすには、この方法だと台木からのひこばえをかき取る恐れがあり、十分ではありません。

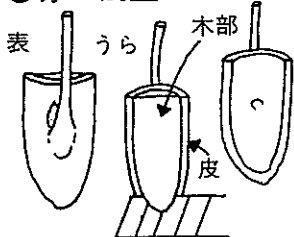
さし木もできますが、発根率はあまり高くなく、接ぎ木をした方がより確実です。接ぎ木では、切り接ぎよりも簡単に確実につく芽接ぎがよいでしょう。指先の器用な人なら80〜90%以上は成功しますから、さし木よりも確実です。

台木はライラックとイボタノキを使いますが、家庭ではライラックのひこばえを利用するのが手軽です。

前年の春にかき取って畑に植えておきます。6月くらいに地ぎわに少し土を盛っておくと、皮が

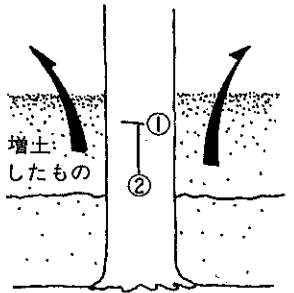
ライラックの芽接ぎ

④ 芽の調整

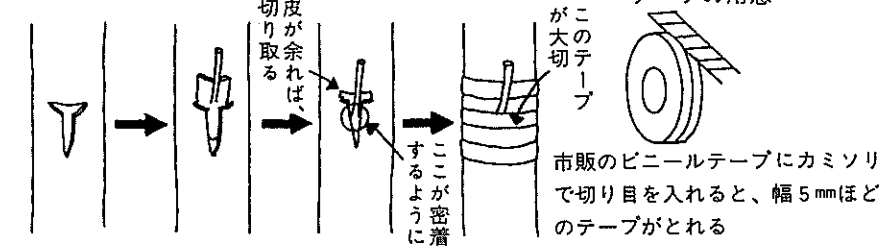


- 芽は裏むけて、刃の背で皮の部分を少し押さえ白い木部をはね上げるように、ゆっくりとはぎ取る（強くやると葉の芽を傷めるので注意）
- 用意できた芽は乾かないようにすぐに口に含む
- 1芽用意したら、親木はバケツに戻し、すぐに接ぐ

⑤ 接ぎ芽の実際

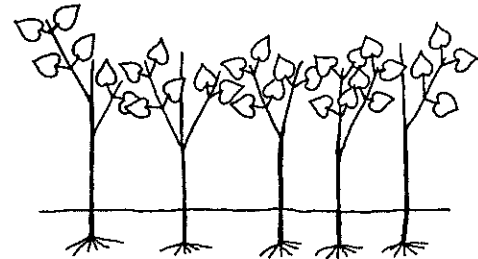


- 台木にかけておいた土をよけ、土をよく落とす
- 接ぐのは、北向きの側の方がはがれやすいようである
- ①、②の順で皮だけに切れ目を入れる
- カミソリの背で、皮をそっとはぐ。きれいにはげない場合は場所を変える
- 芽をさし込む、台木の木部と芽の裏側が完全に密着するように、しっかりとさし込む
- ビニールテープでしっかり葉柄を残して巻く



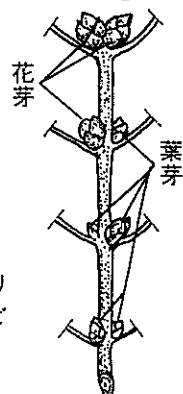
市販のビニールテープにカミソリで切り目を入れると、幅5mmほどのテープがとれる

① 台木の用意



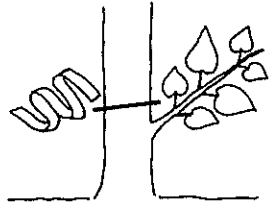
- ひこばえをかき取り、台木を養生しておく
- 太さは小指くらいがよい
- 地ぎわには、6月ころから土をかけておくと皮が軟かくはがれやすい

② 穂木の用意



- よく充実した枝を切り取り、葉は葉柄を残して切り取る
- しおれないように、バケツの水に漬けておく

⑦



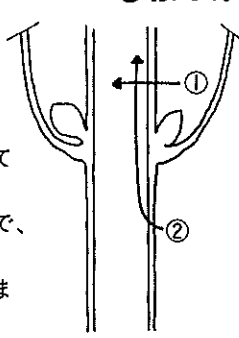
- 翌年、芽が動いて枝が伸びてくるので、台木の上部を切り取る
- ビニールテープもはがしてやる

⑥ 活着の是非



- 7〜10日後、葉柄を指で押してみてもポロリと取れたら、活着している
- 取れないようだ失敗しているので、すぐに接ぎ直してやればよい
- その年は芽は動かないので、そのまま置いておく

③ 接ぎ芽の採り方



- 片刃の安全カミソリを用意する
- ①で5mmくらい切れ目を入れ、②で木部までかかるようにそぎ採る（鉛筆を削る要領で）
- 丸く太い花芽はさげ、やや小さい葉芽の方がよい

はがれやすくなるようです。

芽接ぎは7〜8月の最も暑い時期が適期です。これは来年伸びる芽が充実している、台木の活動が活発で活着しやすい、ことなどからです。またこの時期が一番皮をむきやすいこともあり、実際のやり方を図に示しておきました。芽接ぎを成功させるポイントは

◎芽は蕾をもって太い花芽より、小さい葉芽の方がよい

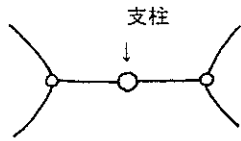
◎芽は、深くそぐとわん曲が大きくなって台木と離れやすくなるので、木部を少しつけるくらいに浅く採る

◎調整した芽はすぐ口に含み、絶対に乾かさぬ◎台木の皮がすつとはげない場合は、裏側など何回もやりなおしてよい

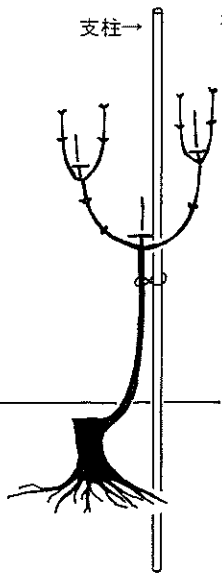
◎芽の裏側が台木に密着するように、ビニールテープは芽の上を少し強くしばるようになる

接ぎ木苗、その後の管理

(真上から見たところ)



- ・接いだ所から折れないように支柱をしてやる
- ・2回ピンチして枝を4方向に伸ばしてやるとよい



札幌市の木・ライラック

昭和35年、札幌市は人口50万人突破を記念してライラック、スズラン、カッコウを美しい緑の都市にふさわしい木、花、鳥として制定しました。これは公報やポスター、テレビ、ラジオ、新聞などの各報道機関を通じて呼びかけられ、市民による人気投票の結果、決まったものです。

例年6月に行われるライラック祭りには、数本の苗木が札幌市長の手によって植樹され、現在では170本ほどが大通り公園を彩るようになりました。

南北を建物に囲まれた大通り公園では、その日照条件から枝が日の当たる方へ伸び、南側の木は北側へ、また北側の木は南側へと枝を出します。これらのライラックは管理事務所の手によって、花後の数日にわたる花がら摘みや、春先の施肥(油カスと骨粉の混合肥料、堆肥のすき込み、追肥筒の使用など)、灌水その他の配慮がなされます。初夏、札幌市大通公園を薄紫にそめるライラックはこのような手厚い手入れのもとに毎年美しい花を見せてくれるのです。

なお、活着したものは、当年は芽が動かないのでそのままにしますが、冬に凍害を受ける恐れがあるので、秋に掘り上げ、浅い穴を掘って土中に埋めて冬越しをさせます。

春に定植し、芽が伸びてくるのを確認してから台木を芽の上で切り取ります。伸びた芽は3〜4芽伸びた所からピンチして、枝数をふやしてやり

ます。2〜3年めから花芽をもつてきますが、花房の一部だけを残して切り取り、花色を確認したら花がらも切り捨て、株の充実を図ります。苗木の小さな花を見るよりも、早く株を仕立ててたくさんの花を楽しんだ方が得策なのはいうまでもありません。

北国の庭木

北国で庭木を育てるための

庭木のガイドブック

本誌執筆者川口優さん(北海道林業専門技術員)の手による「北国の庭木」が好評発売中です。

北海道に育つ樹木について土づくりから、庭木の植え方、手入れまでを、本道の気候に即してわかりやすく解説。全国の有名書店でお求めください。B六判・一五六ページ(うちカラー四ページ)、一、〇〇〇円。また直接申し込みの場合は(株)いらつく書房(札幌市中央区南6条西11丁目、第2さっしんビル)振替小樽一七七六一へ、本代と送料(一二〇円)をそえてどうぞ。

北国の庭木

—北国で庭木を育てるための庭木のガイドブック—

川口 優



いらつく書房

ライラックには致命的な病虫害はほとんどありません。

害虫

●アブラムシ 特に蕾が開いてくるときに発生します。浸透移行剤を散布します。

●ハマキムシ 6〜8月に葉を巻いた中に緑色の青虫がひそみ、葉を食害します。少量であれば摘み取って焼却し、発生が多い場合にはカルホス乳剤を散布します。

病 気

●うどんこ病 ひこばえを群生させて通風が悪くなった株によく発生します。ひこばえや胴吹き枝を刈り取ってやれば、ほとんど発生は

抑えられるでしょう。

●ウイルス病(?) 最近、写真⑩のようになった株をよく見かけます。葉脈部が黄化萎縮し、株全体の元気がなく、花つきも悪くなっています。一度、ある研究機関でウイルス検定を試みましたが断定できず、その症状から恐らくウイルス病だろうと考えられているものです。(除草剤によっても同様の症状を示すことがありますが、一時的なものです)

これにかかるとはつきりと株の活力が衰えてくるので、筆者は株を掘り上げて焼却することをすすめています。一般に樹木のウイルス病は、すぐには枯死しないことから放置されますが、後で取り返しのつかないことにならないようにしたいものです。

特徴をいかす効果的な植栽

庭園樹として

庭の中でライラックが一番多く植えられているのは、道路ぎわではないでしょうか。これは、枝葉がかなり密生しているため、道路からの目隠しに好都合であること、反対に庭から見れば前面に来る草花や小灌木の背景樹となること、などが大きな理由でしょう。

また、このような場所は日当たりがよいので、ライラックもがっちり育ち、花つきもよいので

うってつけなわけです。

門から玄関までのアプローチにも多いようです。門の両側に植え、下枝をきれいに落とすとライラックのアーチになります。

玄関わきに1株植え、下枝を落とした空間をツツジやボタンを数株植えて隠してやると華やかなアプローチが演出されます。

ライラックは日陰を嫌い、より大きい木の側に植えると陰になった部分の枝は枯れていきます。このため、モミジやナナカマドなどの高木とは少

新しい北国の造園!

狭いスペースを最大限に生かし、あなたの庭に自然のパノラマを再現する。ロックガーデン責任施工

★施工期間 毎年4月～10月末

あなたの緑のプランをお手伝いいたします。

ボモングリーンサービス

貨 植 木 ・ 造 園 札幌市北区新琴似9条14丁目
ロックガーデン・植木 TEL 764-6682



し離れた位置に植えてやりましょう。

〈生垣〉

変わった利用法としてはライラックの生垣があります。(写真⑳) 枝はやや粗く、葉も大きいのですが、刈り込んでも枝の再発生力が強い、地ぎわからひこばえがたくさん出るので下枝が上がらない、病虫害の発生が少ないこと、などからよい生垣を作ることができます。

しかし枝の先端部に花芽ができるので、夏以降に上部を刈り込むと、翌年の花つきは著しく悪くなります。初めから花はあきらめてきっちり刈り込み、生垣としての特性を発揮させる方がよいと思います。

公共造園の緑化樹として

公園や街路、学校や会社の前庭など、ライラックを植えていない所はないくらい、たくさん植えられています。

しかしほかの木とごちゃごちゃ植えてしまつては、ライラックのよさは発揮されません。写真㉑は札幌市内のある幼稚園の遊び場ですが、道路沿いに様々な花色のライラックが列植されています。3〜4mの高さに成長し、何年かおきに弱く刈り込まれて樹冠もそろつており、満開時には道行く人の足を止めさせるほどです。フェンスの高さもぴったりですし、ライラックのよさを十分に発揮した秀れた植栽例です。

広い場所にライラックを植える場合には、平地

では列植するのが最も効果的です。歩道わきの帯状マスや道路分離帯にもたくさん植えられてはいますが、乾燥に弱いライラックにはちよつと過酷な環境です。ニセアカシアのような葉張りのある街路樹と組み合わせるのも生育不良を起ささせることになりません。

歩道に降った雨水を帯状マスに誘導する方式をとったり、適宜灌水してやれば、もつともつと素晴らしい生育を示してくれるでしょう。

広い面積のある公園などで、傾斜地があれば、群植すると素晴らしい名所になることでしょう。ライラックは樹冠の外に花房をつけるので、木が背よりも高くなると、離れた所からでないよさを実感できません。

なだらかな斜面に様々な花色のライラックが数百株も群植されているような、日本中に誇れる公園などできないものではないでしょうか。

ライラックを市の木にしている札幌市でさえ、名所といえば大通公園しかありません。海外のライラックの名所は数百種にもおよぶ様々な園芸品種のコレクションを中心に構成されているようですが、道外の種苗会社に依存しているのは、北国の風土に適した品種の導入を期待することはできません。

真に北国を代表する庭木であるライラックこそ、北国に住む私たちが積極的に秀れた品種を導入して、より多彩な植栽をしていきたいものです。

(グリーン・デザイナー)

植物成長調整剤 農林省登録13445号

グリンナー

植物の枯れ・しおれ・いたみを防ぐ

グリンナーは植物体表面を直接被膜し、呼吸作用や光合成を妨げずに水分の蒸散をコントロールする安全農薬です。

- ／草花のさし芽の簡略化・早期発根に
- ／草花の病虫害防除の農薬に混ぜて効果延長
- ／貯蔵球根の乾燥防止と鮮度保持に
- ／庭木の移植の使用で完全活着
- ／庭木の輸送枯損防止や、衰弱の回復に
- ／庭木の病虫害防除の農薬に混ぜて効果延長
- ／庭木の夏期過水や寒干害による枯損防止
- ／庭木の剪定の切り口ゆ合や、病患部削り取り後に
- ／植穴土質の改良

株式会社 日本グリンナー 北海道支店

札幌市豊平区平岸2条12丁目1-1 第2川崎ビル
TEL 011(841)1231(代)